

原子力機構・楢葉遠隔技術開発センター 産総研・福島再生可能エネルギー研究所

見学会



2016.10.31 於JAEC・楢葉遠隔技術開発センター



実物大サブプレッション
チャンバー(1/8セクター)

実証試験用ロボット



【左】県商工労働観光部理事兼次長・中嶋勝也氏、【右】JAEC・福島研究基盤創生センター所長・中山真一氏



10月31日、当協議会主催にて共に開所間もない原子力研究開発機構(JAEA)福島研究基盤創生センター楢葉遠隔技術開発センターと、産業技術総合研究所(AIST)福島再生可能エネルギー研究所の見学会を開催しました。当日は、会員企業の皆様を中心に事務局を含めて総勢30名が参加し、先方受け入れ可能人員の上限に達する盛会となりました。

JAEAでは、最初に見学者側を代表して、県商工労働観光部理事兼次長の中嶋勝也氏から、当協議会の紹介と共に新たなビジネスの切り口を見出したい旨の挨拶の後、同センター所長の中山真一氏から、センター施設の設立趣旨とその設備概要の説明を受けました。その後、2班に分かれ、実物大サブプレッションチャンバー(1/8セクター)、ロボットの検証試験用モックアップ階段や試験用水槽を見学しました。圧巻は福島第一の原子炉模擬空間を自由に移動できる没入型バーチャリアリティ(VR)システムで、極めて臨場感のあるシステムに見学者から感嘆の声が上がりました。

行程途中で各自昼食をとった後のAISTの見学では、まず同所所長代理の中岩勝氏から、施設の概要説明を受けました。その後、氏自ら所内に分散する試験設備を案内して戴きました。特に、このセンターでは基盤エネルギーを下支えするエネルギーとして有望な各種再生可能エネルギー実証試験設備(高効率太陽電池、高性能風力発電、水素キャリアシステム、地中熱利活用システム等)が設置されており、それぞれの課題が明確化され、着実に研究が推進されている印象を受けました。

今回の見学会は、これらの研究設備の目指すものを再確認すると共に、地域の企業への期待や、見学参加企業などの参入の可能性を企業自身の目で判断戴く機会となり、今後の各種交流の端緒となることが望まれます。

今回の見学会は、これらの研究設備の目指すものを再確認すると共に、地域の企業への期待や、見学参加企業などの参入の可能性を企業自身の目で判断戴く機会となり、今後の各種交流の端緒となることが望まれます。

産総研で技術展示会開催

2016.12.12

恒例となった県内研究開発支援型企業による技術展示会が、産業技術総合研究所(産総研/つくば中央)共用講堂ホワイエにおいて12月12日に開催されました。この展示会は茨城県といばらき成長産業振興協議会が主催し、つくば研究支援センター、ひたちなかテクノセンター、当協議会などが共催し、参加27企業が自社の得意技術や製品を展示PRしました。

当日は、冒頭、産総研イノベーション推進本部地域連携推進部審議役、兼関東地域連携室長/西連寺二郎氏から、交流を通し相互のシーズとニーズのマッチングなど今後の産総研における研究への技術支援参画や、ビジネスへの進展を期待する旨のご挨拶を戴きました。展示会では特に正午から1時間の昼休みに多数の研究者の来訪を得て、終了迄に合計220名を数え成功裡に終了しました。また各ブースでは研究者と企業担当者が熱心な議論を交わす場面が散見され、今後の展開に大きな期待を感じさせました。



白熱の議論

盛会の会場風景

イベントのお知らせ(予告)

- 原子力施設廃炉処理の現状と福島県の取組み (講演会)
 - ◆日時：平成29年2月20日(月)13時30分～(予定)
 - ◆場所：ひたちなかテクノセンター/3F研修ホール

***** J-PARC NEWS 発行 *****

J-PARC NEWS 第139号が発行されました。

<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>